

大学卒業生の集い Joyous Style について

今回、この度の行事についての「募集要項」をお配り致しましたが、皆様方にはこれから安心してお声がけ働きがけを頂きたい上から、ひとまず、おおよその事柄を補足説明させていただきます。

《開催趣旨》

卒業生がそれぞれの道へと進むこの時期に、おちばで教えを学び、「陽気ぐらしへの歩み」について考えることは、その後の信仰生活の上で有意義なことです。卒業後、どのような環境においても、おちば、教会に繋がり、教えを拠り所とした生活を送ることができるよう促す機会にしたい。

《テーマ》

陽気ぐらしへ向かって ～私とおたすけ～

《プログラム》

それぞれの新天地において、今よりも少しでも陽気ぐらしの実践をしてもらえるよう、「陽気ぐらし」のテーマに沿ったプログラム構成を検討しています。

内容としては、ご本部の「朝夕のおつとめ参拝」や、朝つとめ前の「教祖のお出まし参拝」をはじめ、簡単なエクササイズを利用した「グループタイム」や「講話」（「陽気ぐらし」「教祖」「陽気ぐらしの実践」3本の講話を予定）、また楽しんでもらうためのお楽しみの要素を含めたプログラムも検討中です。誰でも参加して頂けるやさしい内容を目指していますので、広くお声がけ頂ければ幸いです。

《感染対応》

大まかな対応策としては、以下のようなことを検討中です。

- ・「宿舎」は本部第 38 母屋とし、宿泊は「一人一部屋」で就寝して頂きます。
- ・「食事・入浴」はすべて 38 母屋とし、時間差および適度な距離を保てるよう対応します。
- ・「各班の学生の人数」は 5～6 人とします。
- ・「グループタイム」は部屋の換気を頻繁に行い、フェイスシールドを着用し、各部屋にはアルコール消毒液を常備します。
- ・それ以外の時間帯では、「マスクを必ず装着する」ようにします。
- ・「手洗い、うがいの徹底」を促します。
- ・「密集を避ける工夫」を致します。（例：受付は一定の距離をとって並ばせる。玄関では密集しないよう対策をとる。講堂や参拝場は一人一畳で一畳空けて座るなど対策を講じます。）
- ・期間中はお茶のペットボトルを配付するなど、コップをはじめ色々な物品を不特定多数が共有しないよう配慮します。
- ・随時、部屋や手すり、物品などの消毒を行います。
- ・「受付」の際に体温測定を行います。
- ・「救護」は、看護師 2 名に宿舎に常駐してもらう予定です。

などなど、以上のように万全の対策を講じて開催させて頂く予定ですので、どうぞご承知置きくださいますようお願い申し上げます。

尚、後日、更に詳しい「感染予防対応」についてのガイドラインを、各委員長様方、また受講される学生さん方へ郵送させて頂く予定です。

何か不明な点、質問などあれば、学生担当委員会事務局までご連絡下さい。